

2019年度(平成31年度)学校評価自己評価表

城南中学校区	校番 5	福山市立川口小学校
最終更新日		2019年(平成31年)4月1日

I 福山市

ミッション	福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン	「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容 ・校区内5校が効果的な取組を共有し、城南スタイルの学習の成果が徐々に出てきており、学力や生活習慣での課題が改善傾向にある。・不登校、長期欠席、問題行動生徒へは、一体化した取組をしているが改善が難しい。・小中一貫教育のさらなる推進を望む。	児童生徒の現状 児童生徒の学び意欲は向上してきているが、さらに主体的に学習する力を育て、わかる授業を創っていくことが必要である。また、自己肯定感・自尊感情を高め、学校での居場所づくりや所属感を高める取組を進めることにより、学校生活の意義を認識させることが必要である。	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”) めざす子ども像 (義務教育修了時の姿) 中学校区として統一した取組等	問題解決力 コミュニケーション力 協調性 自律性 「書く」活動と「伝える」活動を位置づけた授業の中で、主体的に学び合い、基礎的な内容を習得し、活用できる「考動力」を身に付けた児童生徒 ○「習得」の学習活動の工夫 ・条件を設定して書かせる・聞き手に意見や質問を述べさせることを通して内容を深める ○学習習慣の定着・家庭学習の充実 城南中学校スタンダードの設定・Noメディアデーの実施・放課後学習会の実施 ○個に応じた指導の充実 ・個別の指導計画の作成・構造的な板書・ヒントカード
---	--	---	---

III 自校

ミッション 地域に誇りを持ち、地域に学び、地域を愛する子どもを育てる学校づくり	学校教育目標 豊かな心を持ち、主体的に生きる児童の育成	現状 <児童生徒> ①自分の考えを、理由を付けて書き、発表することができ始めたが、具体的な理由付け、主体的な交流になりえていない。 ②自己肯定感が低い児童が多い。規律を守る児童が増えているが、守れない児童もいる。 ③新体力テストにおいて、県平均を上回る項目が80%に達していない。 <授業> 児童が、個人思考場面で理由を持って自分の考えを書いたり、ペアトーク場面で相手に理解を促すように話したりする型が見え始めている。しかし、まだ主体的・双方向的な交流になっていないので、思考を深め合えていない。	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”) めざす子ども像 問題解決力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション力 <input type="checkbox"/> 協調性 <input checked="" type="checkbox"/> 自律性 <input checked="" type="checkbox"/> 低 ・課題について、自分の考えを根拠・理由を付けて書き、伝え合い、感想等を付け加えたり、言い換えたり、質問をしたりする。 中 ・課題について、自分の考えを根拠・理由を付けて書き、伝え合い、質問したり、他者の考えと比較し、共通点・相違点について考え合ったり、広げたり、まとめたりする。 高 ・課題の解決に向けて、自分の考えを根拠・理由を付けて書き、伝え合い、他者の考えと比較し、統合・分類、法則化、よりよい考えについての検討等を行う。 低 ・他者の考えを大切に、協力して活動する。 中 ・自分を振り返りながら、他者のよさを認め、協力して活動する。 高 ・自他の立場・自分の欲求ときまりとのおりあいをつけつつ、思いやりの心を持ち協力して活動する。 低 ・自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。 中 ・自分でやろうと決めたことは、最後までやり遂げる。 高 ・高い目標をもち、粘り強く努力する。	教科等 国語 外国語活動 自分の考えを持ち、豊かに表現する児童を育成する授業の創造 【国語科】～主体的に読み、書き、伝え合う児童の育成～ ①課題発見・解決型の単元構成 ②思考の場を設定した授業展開 ③つきたい力に合わせた言語活動の精選 【外国語活動】～外国語を通じて豊かにコミュニケーションを図る児童の育成～ ①ゴールを明確にした単元構成 ②段階的にメインの活動に向かう授業展開 ③伝え合う楽しさを感じ、必然性を伴うコミュニケーションの場の設定 めざす授業の姿 ・課題の解決に向けて、自分の考えを根拠・理由を付けて書き、伝え合い、他者の考えと比較し、主体的・双方向的な交流になり、思考を深め合える児童を育てる授業。
--	--------------------------------	--	--	---

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立川口小学校

年目	中期経営目標	重点分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)				
						□指標に係る取組状況	力での評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況	力での評価	達成評価	総合評価	改善方策
2	21世紀型“スキル&倫理観”(問題解決力・コミュニケーション力・協調性)を身に付けた児童	★見直し	標準学力検査(CRT)で全国平均を全ての学年で上回る。	①児童の主体性を高め、コミュニケーションを育てるために、授業において「つながり発言」に取り組む。	①児童アンケートにおいて、「自分の考えと友達のとをつないで発言することができた。」と回答する割合を80%以上にする。					□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	力での評価	達成評価	総合評価	改善方策
				②基礎的・基本的な内容の習得を図るために、くすのきタイム(学年の課題に応じた指導)を週5回、チャレンジタイム(学力課題のある児童への個別指導)を月1回実施する。	②標準学力検査(CRT)において、通過率40%未満の児童の割合を15%以下にする。									
2	21世紀型“スキル&倫理観”(協調性・自律性)を身に付けた児童	★見直し	長期欠席児童(年間の欠席日数が30日以上)の児童及び不登校児童の人数を昨年度より減らす。	①自己有用感を育成し、協調性を育てるために、「がんばりみつけ」を各学期1回以上行う。	①児童アンケートにおいて、「自分にはよいところがある。」「友達によさに気付くことができた。」と回答する割合を90%にする。					□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	力での評価	達成評価	総合評価	改善方策
				②児童自身が自ら学校を楽しくするために取り組む学級活動や児童会活動の充実を進める。	②児童が主体的に活動する特別活動(学級活動・児童会活動)の教職員研修を、年間3回以上実施する。									

健やかな体	2	21世紀型“スキル&倫理観”(自律性)を身に付けた児童	見直し	新体力テストの5段階評価で、A・B評価の児童の割合を70%以上にする。	①体力面の課題に関する研修内容と体育科の授業を関連させた指導を各学期に1単元以上行い、1回の授業において25分以上の運動量を確保する。 ②児童が楽しんで運動に取り組める時間を確保することで運動量を増やす。	①新体力テストにおいて、全国・県平均を上回る項目の割合を80%以上にする。 ②各学期に一回以上、大休憩の時間を延長したロング大休憩を設定し、児童が楽しんで体を動かし、運動量を増やす。												
	2	確かな授業力・指導力を身に付けた教職員	継続	研究授業・初任研 示範授業・授業観察等の「見せる授業」を行い、授業力の向上を図る。	①「見せる授業」を1人年間3回以上行う。	①児童アンケートにおいて、「授業がよく分かる」と回答する割合を95%以上にする。												
市民から信頼される学校	2	教育公務員としての規範意識をもった教職員。	継続	教職員の不祥事を0にし、病休者を0にする。	①7時間45分を意識した仕事の内容、量、手法について業務改善に努める。	①週1回の定時退校の定着を図る。 ②時間外勤務の時間を全教職員が月45時間未満にする。												

[プロセス評価の評価基準]

[達成評価の評価基準]

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。